



# 会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第35回

## トナミ運輸株式会社

北大阪支店

副支店長

石坪 優衣さん

### PROFILE

2013年入社。加古川流通センターに配属。2014年、北大阪支店に異動、経理業務を担当後、翌15年、近畿エリア(大阪、京都、兵庫、滋賀)の支店を統括する近畿主管支店に異動し営業補佐を担当。2020年、北大阪支店に異動、営業に従事。2022年7月、副支店長に昇進、現在に至る。大学時代には1年間スペインに留学。休日はグルメ(お酒を含む)を楽しむアクティブ派。京都府出身。

## 職場のパイプ役を担う

### ——入社後の経歴を教えてください。

最初の勤務地は加古川流通センターです。入出庫業務を担当した1年後、北大阪支店に異動し、経理業務の補佐を務めました。翌年、再び異動することになり、近畿主管支店の営業担当になりました。主管支店はエリア内の事業支店を統括する支店で、近畿主管支店の営業は、直属の課長と二人体制でした。そのため、アシスタントとして課長に付き、お客様対応や管轄支店のサポートなど、さまざまな業務に携わることができました。2020年、北大阪支店が現在の新拠点に移転したのと同時期に、営業担当として北大阪支店に戻りました。2022年7月から副支店長を務めています。

### ——現在の業務について教えてください。

当支店は特積み事業所で、事務職とドライバー等、合わせて80名以上が働いており、その社員の労務管理がメイン業務になります。また、支店長不在時の代行も担っています。

### ——入社10年目で副支店長に就任されたとのことですが、意識の変化などはありましたか。

副支店長の役職は、数年前、次世代の責任者育成を目的に新しく設けられたもので、入社10年くらいの社員が任命されています。私は昨年辞令を受けたのですが、当初は正直戸惑いました。副支店長の

重責を考えると私で務まるのか不安でしたし、いまだにプレッシャーを感じることもありますが、後に続く人のためにも責務を全うしたいと考えています。

### ——業務にあたる際、心がけていることを教えてください。

以前から「人の話を聴く」ことを心がけており、現職になってその思いがさらに強くなりました。また、忙しそう先輩に声が掛けにくかった新人時代の経験から、気軽に声を掛けてもらえるよう留意すると同時に、声を掛けられた際には必ず手を止め、相手の方を向くようにしています。私自身、センター業務、経理、営業と多様な業務に携わる中、分からないことはその都度、本社や主管支店、業務職の皆さんなど、多くの方々に指導していただきながらやってきました。これからはそうした経験の中で培ってきたネットワークを生かし、皆のパイプ役になりたいと思っています。

## 一人一人が力を発揮できる職場に

### ——これまでのご経験の中で、印象的なエピソードを教えてください。

当社は現在、変化する時代に対応すべくDX導入をはじめとした変革を進めているところです。そのため、本社などに問い合わせや依頼をする機会も増えているのですが、話の中で「石坪さんの頼みなら

引き受けましょう」といった言葉をかけてもらうことがあります。日頃から社内の信頼関係はとても重要だと考えているため、私のことを認め信頼して下さる人がいると思うと、ありがたい気持ちになります。また、副支店長に就いた直後、かつて女性社員研修で一緒になった先輩の女性副支店長から激励をいただいたことも忘れられません。そうした縁は大切にしたいと思っています。

——現在抱えている課題などはありますか。

本来、部下に任せる仕事はちゃんと任せ、それを管理するのが私の役目なのですが、皆の忙しいような姿を見ていると、つい仕事に手をつけてしまいがちです。当支店の事務職は若い世代が多いので、皆の成長のためにもあらためなくてはいけないと自分を戒めているところです。

——今後の抱負を教えてください。

他業界や他社に比べたらまだまだかもしれませんが、当社にも女性社員が増えてきています。また、深刻化する労働力不足問題対応として、例えば外国人労働者の受け入れも考えなくてはならない時代です。これから先、性別や国籍などを問わず、一人一人が力を発揮できる職場にしていくためにも、まずは現段階で少数派の女性社員にとって働きやすい環境づくりに注力したいと思っています。そして将来、彼女たちが次世代のリーダーを目指してくれればうれしいです。コロナ禍も収束の気配を見せています。集合研修なども増えてくるでしょうから、



労使共催のツアーにて、参加者の皆さんと



◀ 執務中の石坪さん

ぜひ社内の横のつながりも増やし、活躍の場を広げてほしいと思います。

——物流業界で働く女性の皆さんにメッセージをお願いします。

物流は社会貢献性が高く、社会から必要とされている業界です。また、その業務は人と人とのつながりで成り立っています。一方、当社は現在変革の最中ですが、これまでと同じ視点のままでは時代に追いつくことはできません。女性にもたくさんの方に入社いただき、新たな風を吹き込んで、共に会社の変革を進めていただきたいと思います。

——ありがとうございました。

会社概要

トナミ運輸株式会社

本社住所：富山県高岡市昭和町3-2-12

北大阪支店：大阪府茨木市宮島2-5-1

創業：1943年6月1日

設立：2008年10月1日

代表者：代表取締役社長 高田 和夫

資本金：100億円

社員数：3,940名(単体、2022年1月現在)

主要拠点：東京、埼玉、富山、石川、愛知、大阪、兵庫 他(2023年1月現在)



北大阪支店

【事業概要】

トナミ運輸は、1943年に礪波運輸株式会社(本社：富山県砺波市)として設立。富山を起点とした定期路線運行を展開。1962年、現社名に商号変更。倉庫、航空輸送、物品販売、引越等、事業を拡大していく。2008年、純粋持ち株会社体制に移行し、商号をトナミホールディングス株式会社に変更する。トナミ運輸は新生の事業会社として事業を承継。「トナミ運輸は輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる」を経営基本方針に掲げ、ロジスティクス、サプライメンテナンス、航空国際、情報サービス等、幅広い事業を展開している。